

鉄道の安全・安心にチャレンジ！
通信機能付き軌道用ゲージ（SELゲージ）の開発
（提案公募型技術開発事業、研究開発型企業支援助成事業）
株式会社畠茂商店

事業概要

当社は、藁を縄や筵（むしろ）に加工する事業者として昭和元年に創業し、平成13年に法人設立しました。創業当初の藁工品の加工から次第に、機械工具の販売、特注機械の製作に事業内容をシフトさせてきました。平成以降は、鉄道関連、高速道路関連の製品開発、特注の生産設備の製作に力を入れています。企業間連携、産学官連携、地域づくりにも積極的に取り組んでおり、研究分野では東北大学や東北職業能力開発大学校等と共同研究を行っています。

東日本大震災で大きなダメージを受けた軌道の安全性向上に貢献するため、平成24年3月、当機構が事業管理機関となり東北経済産業局の支援のもと提案公募型技術開発事業を活用し、地元企業、東北大学、宮城県産業技術総合センター、未来産業創造おおさき等と連携し、保線用測定器（軌道用ゲージ）の開発に着手しました。開発中はみやぎ産業振興機構のコーディネート支援を受けるとともに、東北大学には軌道用ゲージに組み込んだ水準センサーの開発に係る技術支援を受け、1年余りで試作品を完成させました。その後、平成25年に同機構の研究開発型企業支援助成事業を活用し、試作品の改良に取り組みました。また、改良開発に合わせ、経済産業省の支援を受け、平成25年12月に生産体制を構築しました。

平成26年8月に大手商社2社と代理店契約を締結し、販売を開始しました。製品名を「SELゲージ」とし、これまで18台納入（平成27年3月末現在）しております。「SELゲージ」は部品の8割近くを大崎地区周辺の地元企業から調達しており、「メイドイン大崎」の製品です。

新幹線のさらなる高速化や保線測定データの管理問題の発生等により、当社が開発した通信機能付き高精度軌道用ゲージ（SELゲージ）に対するニーズはますます高まっており、鉄道の安全・安心に貢献する企業として、さらなる販売拡大を図っていきます。

企業の声

「中小地場企業は、新たな事業・業態にチャレンジしていく姿勢が重要です。また、地域内の企業間連携はもとより、産学官のチームワークが求められています。機構のコーディネート支援や助成金事業の活用により、製品化へ短期間に取り組むことができました。今後も更なる製品開発にチャレンジしたいと思います。」



企業概要

代表者：代表取締役 畠 良記
住所：宮城県大崎市古川千手寺町1-5-21
電話：0229-22-0676
E-mail：info@hatashige.com
URL：http://hatashige.com/
従業員：10名
業種：商業・サービス業
主要製品：SELゲージ、デジタル傾斜計等



<SELゲージの主な特長>

- 通信機能（Bluetooth）
- 高精度水準センサー
- 軌間測定精度0.1mm
- 有機EL使用デジタル表示
- 電池残量表示 等



提案公募型技術開発事業は、国等の提案公募型技術開発資金への提案発掘やマッチング等を行い、産学連携共同研究体の申請に係る支援から、社会に有用な新技術・新商品開発・実用化等に至るまで、総合的なコーディネート支援を行う事業です。

研究開発型企業支援助成事業は、国等の提案公募型技術開発事業等が終了した後において、実用化・事業化に向けた補完研究を実施する企業者等に対し、経費の助成支援を行った事業です。（平成26年度をもって事業終了）